

みずほCustomer Desk Report 2017/04/07号(As of 2017/04/06)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.57 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.40	1.0672	117.78	1.0038	1.2488	0.7566
SYD-NY High	111.15	1.0684	118.42	1.0067	1.2506	0.7577
SYD-NY Low	110.29	1.0629	117.35	1.0027	1.2451	0.7533
NY 5:00 PM	110.80	1.0644	117.86	1.0049	1.2470	0.7544
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.61/11.16		Δ25RR	1.750	Yen Call Over	
NY DOW	20,662.95	14.80	債券市場			
NASDAQ	5,878.95	14.47	日本2年債	-0.2080	▲1.3bp	
S&P	2,357.49	4.54	日本10年債	0.0600	▲0.6bp	
日経平均	18,597.06	▲264.21	米国2年債	1.2379	0.4bp	
TOPIX	1,480.18	▲24.48	米国5年債	1.8585	0.7bp	
シカゴ日経先物	18,790	▲55.00	米国10年債	2.3408	0.5bp	
ロンドンFT	7,303.20	▲28.48	独10年債	0.2630	0.5bp	
DAX	12,230.89	13.35	英10年債	1.0990	0.7bp	
ハンセン指数	24,273.72	▲127.08	豪10年債	2.5810	▲2.4bp	
上海総合	3,281.01	10.70	為替市況	USD/CNH	6.8894	0.0069
USDJPY 3M Vol	9.65	0.28%	商品市況	ドルインデックス	100.67	0.11
USDJPY 6M Vol	9.51	0.21%	CRB指数	186.781	0.63	
EURJPY 3M Vol	12.11	0.71%	NY金	1,253.30	4.80	
EURJPY 6M Vol	10.97	0.40%	WTI	51.70	0.55	
			Dubai Spot	52.62	▲0.29	

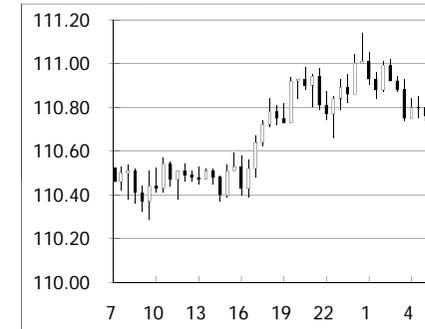
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月6日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:45	中 Caixin PMI総合/サービス業	3月 52.1/52.2	-/-
	15:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	2月 3.4%/4.6%	4.0%/3.9%
	16:30	独 マークイット小売業PMI	3月 52.5	-
	17:10	欧 マークイット小売業PMI	3月 49.5	-
	20:30	欧 ECB議事要旨(3月9日分)	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	234K 250K
	22:30	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-

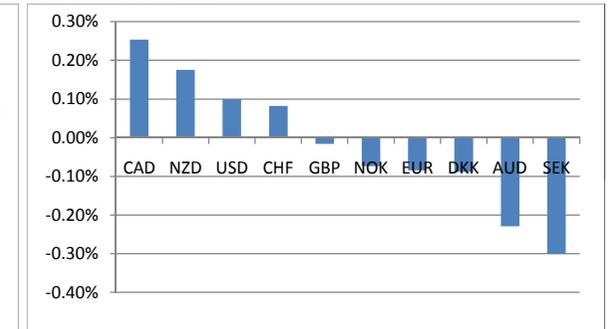
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月7日	15:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 -0.2%/0.5%	2.8%/0.0%
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 0.2%/3.7%	-0.4%/3.2%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	2月 0.3%/3.9%	-0.9%/12.7%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	3月 180K	235K
	21:30	米 失業率	3月 4.7%	4.7%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	3月 0.2%/2.7%	0.2%/2.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.20-111.20	1.0600-1.0700	117.50-118.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場は、日経が前日比大幅マイナス引けを受けて欧州株も軟調にスタートしたものの、徐々にマイナス幅縮小の展開にドル円は110円後半まで上昇。発表された米新規失業保険申請件数は予想比減少で米株もじり高の動きに111円台へ上昇。しかし、シリア問題による地政学的リスクの高まりから、111円台での滞空時間短く、110円後半へ再び回帰。本日は米雇用統計が発表されますが、前々日のADP雇用統計が良好だったことで市場目線は高めであり、よほど強い数字でなければドルの買い戻しも限定的と考える。

東京	東京時間のドル円は110.40レールでオープン。前日からのドル軟調地合いが続く中、日経平均株価が下落する展開にドル円は一時110.29まで下落。しかし、この水準では投機筋による押し目買いや本邦実需勢によるドル買い円売りの動きも散見され110円台半ばまで反発した。その後、目新しい材料がない中で方向感乏しく110円台半ばで横ばい推移。米中首脳会談を控えて様子見ムードが漂っていたこともあり、ドル円は結局110.51レールで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は上昇する展開。110.51レールでオープン後、6-7日の米中首脳会談を控えて様子見ムードとなる中、米長期金利が上昇した事を背景にドル円も値を上げ、110.90レールでNYへ渡った。ユーロドルは往って来いの展開。1.0673レールでオープン後、トランプECB総裁が資産買い入ればプログラムと低金利の当面維持を含む政策指針を示した事を受け、ユーロドルは急落。約3週間ぶりの安値となる1.0629をつけた後、買い戻し動きとなり1.0660レールでNYへ渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	海外市場のドル円は底堅く推移し、110.90レールでNYオープン。朝方発表された米新規失業保険申請件数、失業保険継続受給者数は予想比強めの結果となったが、市場の反応は限定的。その後、米長期金利、WTI原油の上昇を受けて、ドル円は高値となる111.15まで上昇。しかし、米中首脳会談(ワシントン州パームビーチ)や、翌日の米3月雇用統計に対する警戒感から積極的に上値を迫る展開とはならなかった。米株も方向感なく推移する中、午後に入り米長期金利が再び2.30%割れ目前まで低下したことから、ドル円も111円台前半から110.75まで下落し、110.80レールでクロスした。また、日中はトランプ氏、シリアで軍事行動検討「米下院共和党、ヘルズケガ法案の蘇生を目指して修正条項追加」などのヘッドラインが伝わったが、市場への影響は限定的となった。一方、ユーロドルは1.0660レールでNYオープン。材料難の中で上値重く推移し1.0638まで下落した後、1.0644レールでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。